

# 夢ごごち司書の部屋

ヨシタケシンスケさんの「あるかしら書店」<sup>1)</sup>はご覧になった方も多いでしょう。妄想好きの私にとっても、たまらない1冊でした。そんなヨシタケさんに倣ってというか、真似事でホントに恐縮至極ですが、こんな企画はどうでしょう。題して「あったらいい図書館」大募集！！絶対ムリムリな図書館ほど、ワクワクしちゃうそう。大人も子どももみんなで空想の世界を楽しもうではありませんか。僭越ながら、自分もひとつ考えてみました。

「リクガメのリク館長がいる図書館」  
リク館長（推定年齢100歳）は、日長一日、館内を巡回しております。そして、巡回途中でそのまま休憩というか、通路上で眠ってしまいます。書棚と書棚の間でお休みになると、はっきり言ってとても邪魔。踏み台や腰かけと間違われそうになりますが、そこは館内掲示で「リク館長巡回中。お足元にご注意ください」とお知らせしています。

日本では、ネコのたまが駅長だったり、アメリカには、かつて「図書館ねこ」<sup>2)</sup>がいたりしたのだから、カメが館長でもいいと思いました。なにしろこの企画自体、思い付きで書いてしまいましたので、実現しなくてもそこはお許しください。

最後はまじめに、作家さんたちが描いた本当にあったらぜひ行ってみたいすてきな図書館・図書室をご案内いたします。

- その1：コミュニティハウスの図書室で、一見不愛想な女性司書さんが人生のお悩みにぴったりの本を選び、処方箋のように打ち出してくれます。手作りの付録付きです。<sup>3)</sup>  
その2：亡くなった作家さんの蔵書コレクションが並んでいる夜だけ開館している図書館です。入館料1000円。カフェ併設で本に登場する献立が賄いで提供されます。<sup>4)</sup> (S)

## おすすめ本

- 『あるかしら書店』  
ヨシタケシンスケ/著 ポプラ社 (Y ヨシ)
- 『図書館ねこデューイ』  
ヴィッキー・マイロン/著 羽田詩津子/訳 早川書房 (B マイ)
- 『お探し物は図書室まで』  
青山美智子/著 ポプラ社 (アオ)
- 『図書館のお夜食』  
原田ひ香/著 ポプラ社 (ハラ)

# 2月の行事

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
新刊 お話し会	休館					
9	10	11	12	13	14	15
新刊 お話し会						
16	17	18	19	20	21	22
新刊 お話し会		赤ちゃん お話し会				
23	24	25	26	27	28	
新刊 お話し会					休館	

- <日曜> 新刊本を出します。  
新刊コーナーにご注目！  
毎週11時から、幼児から小学生低学年向けのお話し会があります。
- <火曜> 第3火曜日11時から、赤ちゃん向けお話し会があります。

## 編集後記

2025年初めのすがもらぶらり、お楽しみいただけましたでしょうか。今月の〇〇司書の部屋は妄想？図書館がテーマ。私は常々、図書館ねこがいたらなあなどと妄想してはいるのですが、、、やはり現実では難しいかも。今年も巣鴨図書館のチャームポイントを発信していきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。(M)



# すがもらぶらり

2025年2月号(2月1日巣鴨図書館発行)

2月に入り、暦の上では春を迎えます。まだまだ寒い日は続くかとは思いますが、すがもがーでんにも少しずつ春の息吹が感じられます。昨年、公衆電話が撤去されたのでその後に芝桜を植えました。今年もきれいな花を咲かせるのが楽しみです。

さて、年末年始はシステムの入替のため、長いお休みをいただき、ご不便をおかけしました。この入れ替えて、区内にお住まいの方の予約冊数の上限が20冊に増えたり、スマホに、図書館利用カードのIDを表示できるようになったりできることが増えました。HPも生まれ変わっているので是非ご覧ください。

(館長)



1月より、地下1階すがもぎゃらりーにて、中高生の作成した「ひと棚図書館」を展示しています。もちろん貸し出しもできますので、気になる本があれば是非借りてみてください。周知のためのお知らせ(ブラックボード)も参加者の1人が描いてくれました。



# じぞうさんぽ 【突撃！ としまの図書館】

今年度の「じぞうさんぽ」は、知っているようで知らない地元「豊島区の図書館」をめぐる。第6回目は、「千早図書館」です。

## ＜文化と伝統に囲まれた図書館＞

千早図書館は、有楽町線・副都心線千川駅から徒歩7分程度のところにあり、昭和46年に開館、平成27年に耐震工事を実施しました。近くには新田義貞の祈禱所として知られた粟島神社があります。とても小さい神社ですが橋のかかった池があります。この池に棲む鯉にも古い伝説があります。（豊島風土記参照）また、狛犬だけではなく最近では珍しい二宮金次郎像や梟もいますので、お参りしつつ探してみてください。

もう一箇所のほっと休憩できる場所に千川彫刻公園があります。規模は小さいですが、遊具やベンチがありお子さんとも遊べますし、4体のブロンズ像を眺めつつゆったり出来ます。

千早図書館の蔵書数は約7万冊で、2階建てです。大きな踊り場もある階段を上るとYAコーナー・展示スペース・閲覧室があります。閲覧席は103席あるので、平日の昼間ならゆったり本を読む事ができます。配布冊子としてYA向け新着情報誌『ちはやの』が毎月出ています。

1階には『遠山の金さん』や『桃太郎侍』等の著者である山手樹一郎さんのコーナー、『鉄人28号』や『三国志』等の著者である横山光輝さんのコーナーがあります。特に横山光輝さんの資料は充実している上に、ガラスケースに資料も飾られています。館内には鉄人の人形が3体あります。正面入り口にドーンと構えている鉄人はすぐ目につきますが、意外にあと2体に気が付かない方もいます。まだ見た事のない方は探してみてください。

児童室には『こどもSDGsコーナー』が出来ました。千早図書館で作成した『司書が選んだSDGs読み物・絵本ブックリスト』や『国際連合“SDGs Book Club”が選んだSDGsブックリスト』に掲載された本が集められています。児童向け配布冊子として『ほんところうしん』が毎月発行されていますので、こちらも本を選ぶ時の参考にしてください。

千早図書館内にある像といえば、鉄人28号だけではなく、梟像(其の28号)があります。岡本太郎さんのお弟子さんである小嶋太郎さんの作品で、千早小学校の生徒さんの詞と共にライトを浴びています。

千早図書館は豊島区の中でも古い建物です。趣のある図書館の姿を是非お楽しみ下さい。(O)



千早図書館  
外観

千早図書館  
のキャラクター  
ちはや  
ちゃん



横山光輝コーナー



山手樹一郎コーナー



閲覧室



YAコーナー

### 閉館音楽

- ♪ シンペーテッド・クロック
- ♪ ソング・オブ・ライフ

- ♪ ぼくの伯父さん
- ♪ スウィングン・バッハ
- ♪ この道



粟島神社  
の梟像と  
二宮金次郎



千川彫刻公園には、  
この季節には恋しい  
『春』というタイトルの  
ブロンズ像もあります。



千早図書館  
入口に  
いる梟像  
の外側と  
内側



### 千早界隈を知るなら...

- 『豊島風土記』  
豊島区立豊島図書館/編 豊島区立豊島図書館  
(213.0ト)
- 『池袋モンパルナス』  
宇佐美承/著 集英社 (KO 916)
- 『酒と作家たち』  
浦西和彦/編 中央公論者 (910.2 ㍿)
- 『横山光輝のすべて 「鉄人28号から「三国志」まで」』  
辰巳出版 (YM726.1 ㍿)